希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100－8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災地に役立つ情報や「伝言板」への投稿をお待ちしています。被災者の今困っていることも募集します。投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

伝言板

▼宮城県の大江茂子さんは無事でした　3月25日掲載の宮城県東松島市牛網の大江茂子さんは自宅にいました。投稿した40年来の文通友達、神戸市須磨区の山口桂子さんが、宮城県警の行方不明者相談ダイヤルの担当者に勧められて5月28日に手紙を出したところ、31日朝、本人から携帯電話で連絡がありました。大江さんは当初避難所を転々とし、建物の屋上に上がった近所の人が「お宅の屋根が見えた」と教えてくれて、がれきの中に自宅が残って建っているのを見つけたそうです。1階は住めなくなりましたが2階でなんとか暮らし、身内も無事でした。

山口さんは「3月末から市役所や警察などいろいろなところに電話してきましたが、手紙を出すことは思いつきませんでした。固定電話はまだ不通だそうです。『生きてた！』と2人で喜び合いました」。

×　×　×

▼落語とジャグリング、出張居酒屋はいかが　東京都板橋区の作家事務所「ザ・バザール」のスタッフが、宮城県石巻市か女川町で、落語とジャグリング、出張居酒屋を行える避難所や仮設住宅、個人宅を募集しています。いずれも無料。

公演は1時間で、落語家、三遊亭京楽さんが古典落語を、ジャグラーの謳歌（おうか）さんがジャグリングや手品をします。

6月22日14～16時▽23日10～12時▽同14～16時▽同18～20時の時間帯で、最大4回公演可能です。

居酒屋は5月に引き続き「出張居酒屋明星イン東北」と銘打ち、6月23日18～20時に開催可能です。冷たいたる生ビールと日本酒、焼酎、おかき や自家製コンビーフをふるまいます。

希望者はスタッフの小田さん（090・8801・7722）に連絡してください。

「ネットで身元確認」運用開始

NTTPCコミュニケーションズ

NTTPCコミュニケーションズは、東日本大震災に伴って岩手県内で遺体で見つかり、身元が分かっていない人の情報をインターネット上で調べられる「身元確認システム」の運用を開始したと発表した。

岩手県警の検視記録からシステムを構築。約700件の情報が登録されており、性別や身長、衣服や所持品などの特徴から検索し、絞り込むことができる。同社は宮城、福島両県などの身元が分かっていない人もシステムに加えられるよう、両県警など関係機関と協議している。ホームページのアドレスはhttp://tsumugi.on.arena.ne.jp/

サポート情報 ～東日本大震災～

31日現在

給付・貸付

■日本政策金融公庫　中小事業者や農林漁業者らに向けた特例融資。問い合わせは、特別相談窓口フリーダイヤル☎0120・154・505（平日9～19時）。

復興特別貸し付け　融資限度額を最大3億円に緩和し、金利も基準金利から0・5％引き下げ（融資後3年間は1億円を上限に1・4％引き下げ）。限度額は被災の内容や企業規模によって異なり、被災した事業者、福島県の「警戒区域」内の事業者、間接被害を受けた事業者は小規模業者6000万円、中小業者3億円。

農林漁業者向け震災特例融資　融資限度額を最大1200万円に引き上げ（漁船関連は最大700万円）。償還期限を3年延長し、最長18年間にわたり実質無利子のケースも。罹災（りさい）証明書が必要。

国の教育ローン　融資制度を拡充し、子ども1人世帯・2人世帯の世帯年収（所得）上限額を990（770）万円に引き上げ（3人世帯以降は現行通り）。返済期間を3年延長し、金利も基準金利から0・4％引き下げ。罹災証明書が必要。

■商工組合中央金庫　被災した中小企業などを対象に設備復旧や運転資金の長期・短期融資を始めた。風評被害などによる売り上げの減少を要件とする「経営環境変化対応資金」も新設。詳細は、全営業店舗に設置した特別相談窓口へ。相談専門フリーダイヤル☎0120・079・366（平日9～19時）。

■住宅金融支援機構　岩手、宮城の両県で、被災者向けの災害復興住宅融資・住宅ローン返済に関する出張相談窓口を設ける。△岩手県▽大船渡市＝10日△宮城県▽気仙沼市＝3、9日▽七ケ浜町＝14日▽女川町＝17日▽名取市＝20日▽山元町＝23日。詳細は、同機構東北支店☎022・227・5012。

福祉

■認知症　公益社団法人認知症の人と家族の会電話相談フリーダイヤル☎0120・294・456（月～金10～15時）、携帯・PHSの場合☎075・811・8418（同）

同会岩手県支部電話相談室　☎0192・25・1616（原則月～金9～17時）

同会宮城県支部電話相談室　☎022・263・5091（月～金9～16時）

同会福島県支部コールセンター　☎024・522・1122（月～金10～16時）

■障害者

被災地障がい者センターいわて　相談電話☎019・635・6226（月～土9～18時）

被災地障がい者センターみやぎ　相談電話☎022・746・8012（月～土10～18時）

被災地障がい者支援センターふくしま　相談電話☎024・925・2428（無休10～16時）

全日本ろうあ連盟・東日本大震災聴覚障害者救援中央本部　聴覚障害者や支援者からの相談に応じている。☎03・3268・8847、ファクス03・3267・3445（月～金9～17時）

公益社団法人日本オストミー協会　被災地のオストメイト（人工肛門・人工ぼうこう保有者）やその家族の困りごとの相談に応じる。☎03・5670・7681（月～金10～16時）

被災した宮城県山元町笠野・新浜地区の農家が、地元NPO法人の協力で内陸部の農地で野菜を栽培している。ハツカダイコンやトマトなどの栽培で「心が癒やされた」＝同町で、手塚耕一郎撮影

交通

■JR　仙石線矢本―石巻が7月末再開予定。復旧の見通しが立っていない運休区間は次の通り。

△仙石線▽高城町―矢本
△八戸線▽階上―久慈
△岩泉線▽茂市―岩泉
△山田線▽宮古―釜石
△大船渡線▽気仙沼―盛
△気仙沼線▽柳津―気仙沼

■バス

△岩手県北バス▽☎019・654・5814　盛岡―久慈1日2往復。盛岡―宮古同12往復。宮古―盛岡南―東京の夜行バスも運行。

△岩手県交通▽☎019・654・7755　気仙沼・一関―池袋、釜石・陸前高田―池袋、大槌・釜石・遠野―池袋の夜行バスを運行。大船渡―仙台、大船渡・陸前高田―一関の臨時便も。

△ミヤコーバス▽☎022・771・5310　仙台―大船渡・気仙沼・石巻・福島など。

△JRバス東北▽☎022・256・6646　6月1日に仙台―弘前、仙台―郡山・須賀川、5日に花巻・北上―仙台の運行が再開。

△東日本急行▽☎022・218・3131　仙台―盛岡・一ノ関・登米市役所前・栗原市金成庁舎前など。

△仙台空港鉄道▽☎022・707・2235　仙台空港―JR名取駅で鉄道の代行バスを運行。6月1日から仙台空港発着の航空便に合わせダイヤ変更。

△福島交通▽福島支社☎024・531・2706、郡山支社☎024・943・1651　6月1日から須賀川・郡山―仙台が通常運行。

ボランティア

民間ボランティア団体が個人参加を募ったり、旅行会社主催のボランティアツアーが実施されている。

RQ市民災害救援センター　ボランティア希望者は説明会に参加して登録したうえ直接現地へ。1日だけの参加も可能。東京―現地本部（宮城県登米市）の無料送迎バスを週2便運行。説明会は水曜19時、土曜11時、東京都荒川区西日暮里5の38の5の日本エコツーリズムセンター。ウェブサイト（http://www.rq-center.net/）から予約が必要。送迎バスは東京―宮城が毎週月金曜、宮城―東京が毎週日木曜。予約は先着順。問い合わせは同センター☎03・5834・7977

盛岡発沿岸被災地支援ボランティアバス参加者募集　6月4、5日。盛岡を朝発、夜着の日帰りバス。野田村行き、大槌町行きにそれぞれ1便、定員各40人。出発は野田村行きが6時半ふれあいランド岩手、6時50分JR盛岡駅マリオス正面。大槌町行きが6時半マリオス正面、6時50分ふれあいランド岩手。帰着は19時予定。がれきの撤去や泥出し、家財道具の整理、物資の仕分けなど。作業ができる服装で、スコップ、飲料水、食料持参。事前に居住地の社会福祉協議会でボランティア活動保険「天災タイプ」に加入する。バス運賃は無料。申し込みは盛岡市社会福祉協議会☎019・651・1000（8時半～19時）

ボランティア活動と東北観光による被災地応援ツアー　東京発。6月28～30日の2泊3日。沿岸部でのボランティアと、被害が少なかった平泉、松島の観光を組み合わせ、観光地復興も支援する。災害救援ボランティア推進委員会（事務局・東京）の講習も日程に含まれ、未経験者も基礎知識から学べる。宿泊は鳴子温泉。1人5万9800円（全食事付き）。定員40人、最少催行人数30人。申し込みは専用ウェブサイト（http://eccjkmt.co.jp/tvoec/fukko/）からのみ。問い合わせは主催の近畿日本ツーリスト第1営業支店☎03・6891・9301

医療

急患や夜間診療の問い合わせは次の通り。

△岩手県▽沿岸部の主な県立病院。久慈☎0194・53・6131▽宮古☎0193・62・4011▽大船渡☎0192・26・1111▽釜石☎0193・25・2011

△宮城県▽休日・夜間診療案内。仙南地区☎022・343・4009▽仙台地区☎022・216・9977（仙台市内は☎022・216・9960）▽大崎、栗原、登米地区☎0229・24・2267▽石巻地区☎0225・95・3290▽気仙沼地区☎0226・24・2154

その他

■移動郵便局　郵便局会社は、沿岸部の被災地に車両型の移動郵便局を配置する。通帳・証書や印鑑がなくても、20万円まで貯金の払い戻しをすることがないから、いのほか、転居届や紛失した通帳・カードの再発行請求も受け付ける。1日の予定は次の通り（いずれも11～14時予定）。

△岩手県▽陸前高田市広田町大保地区（市立広田小から南側約100メートル）▽同市の蒲田公民館▽県立大槌高▽県立山田高▽釜石市の旧釜石第一中学避難所▽同市の日向アパート集会所（鵜住居）

△宮城県▽女川町総合体育館▽女川町勤労青少年センター▽南三陸町総合体育館ベイサイドアリーナ▽七ケ浜国際村▽多賀城市総合体育館▽県立亘理高

△福島県▽救急医療情報案内サービス☎0120・963・990

△茨城県▽救急医療情報コントロールセンター☎029・241・4199

1カ月間、NICE活動に参加

小さな力を出し合って

吉本紀子さん

国内外で環境、農業、教育などのボランティアプログラムを実施している非政府組織（NGO）「NICE」。吉本紀子さん（35）は4月の約1カ月間、NICEの活動に参加し、福島県会津若松市の避難所で子どもたちと遊んだ。「少しのことしかできなかったけれど、小さな力を出し合うことが大事だ」と話す。

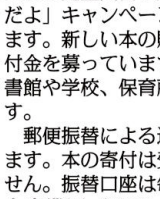
NICEは同市で子どものケアに携わるほか、宮城県栗原市では農作業や家畜の世話をしたり、岩手県陸前高田市で家屋や農地の片付けなどの復興支援をしている。

吉本さんは、避難所となっていた体育館で、遊ぶスペースを作り、朝から夕方まで、7、8人の幼児らと追いかけっこをしたり、ぬいぐるみなどで遊んだ。子どもたちは無邪気に遊んでいるように見えたが、吉本さんが帰る時にはとてもさみしがり、吉本さんから離れようとしない。人との別れに敏感になっているのかな、と感じた」という。ブロックで家を作り、わざと壊して「地震でぐちゃぐちゃ」と言う子どももいて、胸が痛くなった。

4月後半には体育館からホテルなど「2次避難所」に移る家族も増え、ホテル内などにも活動場所を広げた。「小学生もたくさん来てくれるようになり、勉強を教えたりもしている。多くの人に活動に参加してほしい」と吉本さん。NICEは引き続き被災地で活動を続ける予定で、参加者を募集中。問い合わせは事務局☎03・3358・7140。【榊真理子】

ボランティア

「本がそこにある」環境を



絵本作家
荒井良二さん（54）
＝東京都杉並区

いまだに、どうしたらいいんだろうという気持ちでいっぱいです。地震を受けて、ある雑誌から「希望」というテーマの作品を依頼されましたが、気持ちを絵にするのが難しくて、初めは何も書けなかった。こんなことは今までありませんでした。

被災した方たちが再び以前の生活に戻るには、長い時間がかかります。私は山形出身で、東北の「我慢強い」「何も言わない」気質をよく知っているからこそ心配です。息長く、被災地に入ったり絵本を書いたりして、その方たちの気持ちに入り込めたらいいなと思っています。

絵本は、子どもたちのそばにあってほしいものの一つです。何もすることがないから、本でも読もうかという感じでいいんです。本には（読む人を）「呼ぶ力」があるのですよ。もし面白い本に出会えたら、その子の心のちっちゃなともしびになるかもしれません。「本がそこにある」環境を整えてあげたいと思います。【聞き手・反橋希美】

荒井良二さんが寄せたメッセージ

東日本大震災で被災した子どもたちに児童図書を贈る「いっしょだよ」キャンペーンを実施しています。新しい本の購入に充てる寄付金を募っています。被災地の図書館や学校、保育所などに贈ります。

郵便振替による送金をお願いします。本の寄付は受け付けていません。振替口座は毎日新聞大阪社会事業団（00970・9・12891）。通信欄に「子どもの本」、匿名を希望される方は「匿名希望」と明記してください。問い合わせは財団法人大阪国際児童文学館「東日本大震災『いっしょだよ』キャンペーン」事務局（☎06・6744・0581）へ。

主催　（財）大阪国際児童文学館、大阪府書店商業組合、毎日新聞社、毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団

■被災地へボランティアに行くには■

各地の災害ボランティアセンター（VC）が被災地で活動するボランティアを募っている。電話で問い合わせる前に各サイトで情報の確認を。また、被災地に赴く前に居住地の社会福祉協議会でボランティア活動保険に加入することが望ましい。主なVC窓口は次の通り。

＜岩手県＞

県VCや各社協が内陸部に拠点を設け、沿岸部の被災地に送迎バスを出している。

◆県VC　☎019・637・7594　サイトでは個人参加できるボランティアバスの運行状況や各VCの募集情報を公開中

◆遠野市VC「遠野まごころネット」　☎0198・62・1001　遠野市発着便で沿岸部の被災地に毎日ボランティアを派遣。登録も随時受け付け。要事前申し込み。寝袋持参で体育館宿泊可

◆宮古市VC　☎090・4478・3984　10人以内のグループ単位で受け入れ。1週間前までに電話連絡し調整

◆陸前高田市VC　☎090・1344・6017または090・1344・5758　県外からはグループ単位で3日前までに連絡

◆大槌町社協VC　☎080・3518・8490　5人以上の団体で要事前登録。個人参加は県VCの盛岡発ボランティアバスを利用する

＜宮城県＞

各VCが県外からの個人ボランティアも受け付けている。詳細は各VCのサイトで。

◆仙台市VC　☎022・262・7294　5人以上での参加は要事前申し込み

◆石巻市VC　☎0225・23・6015　10人以上の団体は要事前連絡

◆塩釜市VC　☎080・1679・8988　土日は活動休止

◆気仙沼市VC　☎080・5949・7475　ボランティアバスの運行は5月いっぱいで終了。アクセスは公共交通機関で。10人以上の団体は2日前までに事前連絡

◆名取市VC　☎022・784・3029　団体は要事前問い合わせ

◆多賀城市VC　☎080・5949・7501　土のう袋が不足しているので、なるべく持参

◆岩沼市VC　☎080・5949・7541　8人以上の団体は要事前申し込み

◆東松島市VC　☎0225・83・5001　車中泊スペースあり。土のう袋をなるべく持参。5人以上のグループは前々日までに申し込み。VC運営の長期ボランティアも募集中

◆亘理町VC　☎080・5949・7719

◆山元町VC　☎080・5949・7720　前日までに要申し込み

◆七ケ浜町VC　☎090・6853・4490　団体は要事前申し込み

◆南三陸町VC　☎080・2055・1066　県内外問わず団体も受け入れ中

＜福島県＞

◆県VC　☎024・522・6540

◆相馬市VC　☎0244・36・7827

◆南相馬市VC　☎0244・24・1877

◆新地町VC　☎0244・62・5577　要電話確認。テント泊、車中泊は禁止

◆いわき市VC　☎0246・22・5501

電話帳

●行方不明者相談ダイヤル
岩手県警　0120・801・471
宮城県警　022・221・2000
福島県警　024・522・2151（内線3024）

●通信・ライフライン
NTT災害用伝言ダイヤル　171
日本郵便　0120・2328・86（平日8～22時、土日祝9～22時）
東北電力　0120・175・366

●医療
文部科学省健康相談ホットライン・放射線関連　0120・755・199（9～21時）
放射線医学総合研究所相談窓口　043・290・4003（9～17時）
日本糖尿病協会0120・151・721（平日9～18時）
被災がん患者ホットライン（国立がん研究センター）
紹介状あり＝03・3547・5130（平日10～16時）
紹介状なし＝03・3547・5293（平日9～18時）
てんかん支援ホットライン　054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク　052・485・5208

●生活支援
日弁連電話相談0120・366・556（平日10～15時）
岩手弁護士会0120・755・745（月～土曜13～16時）
仙台弁護士会　0120・216・151（平日10～19時）
福島県弁護士会024・534・1211（平日14～16時）
全国社労士会連合会0120・000・528（平日10～17時）
日本司法書士会連合会　0120・445・528（平日10～16時）
あしなが育英会　被災者専用　0120・77・8565（遺児らに特別奨学一時金を支給）
チャイルドライン　0120・99・7777（月～土16～21時、18歳までの子ども向け）
震災関連の悪質商法110番　0120・214・888（10～16時）

●省庁　※平日のみ
公営住宅等情報センター　0120・297・722（9～18時。全国の公営住宅などを紹介）
住宅の補修・再建（国交省）　0120・330・712（月～土）
行政相談（東北管区行政評価局）0120・511・556
金融相談（東北財務局）　022・721・7078
中小企業相談（経産省）　0570・064・350
農林水産業の被害相談（農水省）0120・355・567
年金の相談（日本年金機構）0120・707・118※

●金融・保険　※平日のみ
ゆうちょ銀行　0120・108・420
住宅金融支援機構　0120・086・353
日本政策金融公庫　0120・154・505（土日0120・220・353）
預金口座照会センター（全国銀行協会）　0120・751・557※
災害地域生保契約照会センター（生保協会）　0120・001・731※
そんがいほけん相談室（日本損保協会）　0120・107・808
携帯・PHSからは03・3255・1306

●移転した役所
＜岩手県＞
陸前高田市　高田町鳴石　0192・54・2111
釜石市　シープラザ釜石　0193・22・8253
大槌町　大槌小学校　0193・42・2111
＜宮城県＞
女川町　女川第二小学校　0225・54・3131
南三陸町　町総合体育館ベイサイドアリーナ南側テニスコートの仮庁舎0226・46・2600
＜福島県＞
広野町　FDKモジュールシステムテクノロジーいわき工場　0246・43・1331
楢葉町　会津美里町本郷庁舎　0242・56・2155
富岡町　郡山・ビッグパレット　0120・336・466
川内村　郡山・ビッグパレット　024・946・8828
大熊町　会津若松市追手町第2庁舎　0242・26・3844
双葉町　旧埼玉県立騎西高校　0480・73・6880
浪江町　県男女共生センター（二本松市）コールセンター　03・5638・5055
葛尾村　旧法務局会津坂下出張所　0242・83・0271
★双葉郡支援センター　0120・006・865　上記8町村の避難住民向け。8～22時
★一時立ち入り受付センター　0120・208・066　警戒区域9市町村への一時立ち入りを申し込める。8～22時

時代を駆ける

TAKESHI OKABE

岡部 健〔7〕

みんなで「岡部村」作り

≪在宅のがん患者をみていて、草むしりや土いじりが好きな高齢者は生き生きとしている人が多いと気づいた≫

介護施設を回ると、入所者は長年培った経験があるのに、お遊戯ばかりしているように感じました。農業って自然を相手に作業工程も多く、頭を使うんです。高齢者には農作業を楽しめる人が結構いて、場を提供できたらと思っていました。

≪05年、仙台市郊外の秋保温泉近くに「岡部村」をつくった。敷地は5000坪(約1・65ヘクタール)と、サッカーグラウンドの2・3倍の広さ。看板もある。研究者から飲み友達、患者や家族も気軽に訪れる≫

飲み屋で「DASH村」(日本テレビ系の番組で企画された新しい村)をつくりたいね、という話で盛り上がりました。自然の中で、昔ながらの生活を楽しむ。新車1台分で買える土地が偶然見つかりました。やぶの中で不法投棄の場でしたが、耕作放棄地らしく土地は平らで井戸水もあった。

知人の大工に小屋を作ってもらうと、スタッフの家族らがデッキや露天風呂、発電機をつけてくれた。私は何もしていないのに立派なピザ窯までできました。テレビもなく集中でき、論文の締め切りが迫るとパソコン持参でこもったり。

≪岡部村で毎年、患者会のイベントが開かれ、焼きたてのピザがふるまわれる≫

「鳥の鳴き声が聞きたい」という車いすの男性患者を連れて行ったら、大好評。好きな短歌を情感たっぷりに詠んでいました。患者や家族が出入りするようになり、桜の季節には「最期に花見ができてよかった」と喜んでくれます。畑では遺族が野菜を栽培し、「土いじりをしていると心が落ち着く」そうです。夏は蛍が見られるし、カモシカやキジも現れます。

場所があると、そこにいる人たちが自然と助け合うんです。遺族が「イノシシに芋を食われた」と言えば、周りの人が「じゃあ、柵でも作るか」って。人と人がつながりコミュニティーができる。ボランティアなんて言わなくても、互いを気遣う。震災の避難所で助け合いが生まれるのも、同じなんだと思います。

2011・6・1

おかべ・たけし　栃木県小山市生まれ。日本ホスピス緩和ケア協会理事。61歳（写真は5月、仙台市の「岡部村」花見会で患者と話す岡部さん<右>）

聞き手・下桐実雅子　写真・丸山博／火～土曜日掲載です

希望新聞

特別一時金 申請1000件超

あしなが育英会 給付金を増額

あしなが育英会は31日、東日本大震災で親が死亡・行方不明になった子供らを支援する返済不要の特別一時金の申請が1000件を超えたと発表した。申請件数は行政が把握している数を下回っており、同会は「被災地を離れて生活し、情報が届いていない人もいるのではないか」と周知を呼びかけている。

特別一時金は保護者が死亡・行方不明になったり、重度の障害を負った0歳児から大学院生が対象。年齢に応じて10万～40万円を支払ってきたが、予想以上の寄付が集まったことから、50万～100万円への増額も決めた。既に送金した人には差額を支払う。

30日現在の申請状況は、両親ともに死亡・行方不明が75人▽父親が死亡・行方不明が632人▽母親が死亡・行方不明が394人――の計1101人。

特別一時金の詳細は同会ホームページ（http://www.ashinaga.org）に掲載されている。【長野宏美】

被災で転校 2万1769人に

文部科学省は31日、東日本大震災で被災し、転校などをした児童生徒や幼稚園児が5月1日時点で2万1769人に上ると発表した。このうち被害が大きかった岩手、宮城、福島の3県の子供は2万420人で、全体の約94％を占めた。

3県から他の都道府県の学校へ移ったのは1万1729人で、半数以上を占めた。内訳は岩手2377人▽宮城1494人▽福島9998人。小学生が6799人▽中学生2317人▽高校生1268人▽幼稚園児1243人など。受け入れ先は埼玉県1311人▽新潟県1205人▽東京都1199人――が多かった。

3県で、それぞれの県内の他校に移ったのは8691人。内訳は岩手732人▽宮城2486人▽福島5473人だった。

調査対象は、国公私立校の小中高生、特別支援学校生、幼稚園児らで、福島、宮城両県の一部の学校からは回答が得られなかった。【木村健二】

日暈と環水平アーク

梅雨空に七色の競演

太陽の周囲を光が取り囲む「日暈」と、その下に平らな虹のような「環水平アーク」が31日、東京都立川市で同時に見られた＝写真・尾籠章裕撮影。このうち環水平アークは低い高度で発生してすぐに消えてしまうため、両方が同時に観測できるのは珍しいという。

気象庁天気相談所によると、日暈と環水平アークは、氷のつぶでできた雲がプリズムの役目を果たして太陽の光を拡散し、鮮やかな七色に見える。虹は太陽と反対側だが、環水平アークは同じ方に現れるのが特徴。太陽から下方に離れて現れるため、高度が高い今の時期に見えやすいという。【久野華代】

宝石強奪初公判 被告が無罪主張

ピンクパンサー

東京・銀座の宝石店で07年6月に約2億円相当のティアラ（髪飾り）などが強奪された事件で、強盗罪などに問われた国際強盗団「ピンクパンサー」メンバーでモンテネグロ国籍のハジアフメトビチ・リファト被告(43)は31日、東京地裁（島田一裁判長）の初公判で「強盗団のメンバーではない」と無罪を主張した。

起訴状によると、被告は同国籍の男と共謀し、07年6月14日午後5時ごろ、東京都中央区銀座の宝石店に客を装って侵入し、店員に催涙スプレーを吹き付けてティアラと840万円相当のネックレスを奪ったとされる。【野口由紀】

ボーナス半減の「専決処分」解消

阿久根市議会

鹿児島県阿久根市議会は31日、竹原信一前市長が専決処分で半減させた職員のボーナスを元に戻した上で、給与を最大11・5％削減する条例改正案を賛成多数で可決した。これで、不適切とされてきた前市長による給与関係の専決処分はすべて元に戻された。

条例改正案は、職員給与を1人あたり11・5～2％削減。今年度は6月から実施するため10カ月分で全体では約4500万円減となる。ただボーナス半減を是正し、他自治体並みの水準にした結果、約1億3600万円の原資が必要。改正前後で比較すると、職員1人あたりの平均給与は年約45万3000円増となる見込みという。【宝満志郎】

福島第1原発周辺の累積線量結果

（文科省調べ、30日現在）

浪江町津島仲沖（30キロ西北西）	15.43
浪江町赤宇木手七郎（31キロ北西）	35.72
飯舘村長泥（33キロ北西）	20.23
いわき市三和町差塩（39キロ南西）	0.262
葛尾村上野川（32キロ西北西）	3.876
福島市杉妻町（62キロ西北西）	1.248

※単位はミリシーベルト。1ミリシーベルトは1000マイクロシーベルト。カッコ内は福島第1原発からの距離。累積線量は3月23日（福島市は同24日、いわき市は同25日、葛尾村は4月8日）からの値。

◆大気中の環境放射線量水準調査結果◆

都道府県名	30日	31日	過去の通常値
北海道	0.028	0.028	0.02 ～0.105
青森	0.027	0.026	0.017 ～0.102
岩手	0.022	0.021	0.014 ～0.084
★宮城	0.070	0.066	0.0176～0.0513
秋田	0.035	0.034	0.022 ～0.086
山形	0.044	0.044	0.025 ～0.082
★福島	1.500	1.500	0.037 ～0.046
★茨城	0.095	0.095	0.036 ～0.056
栃木	0.059	0.059	0.030 ～0.067
群馬	0.030	0.030	0.017 ～0.049
埼玉	0.052	0.051	0.031 ～0.060
千葉	0.044	0.043	0.022 ～0.044
東京	0.060	0.059	0.028 ～0.079
神奈川	0.051	0.050	0.035 ～0.069
新潟	0.046	0.046	0.031 ～0.153
富山	0.047	0.047	0.029 ～0.147
石川	0.046	0.047	0.0291～0.1275
福井	0.043	0.043	0.032 ～0.097
山梨	0.042	0.042	0.040 ～0.066
長野	0.038	0.039	0.0299～0.0974
岐阜	0.060	0.060	0.057 ～0.110
静岡	0.037	0.039	0.0281～0.0765
愛知	0.039	0.039	0.035 ～0.074
三重	0.045	0.045	0.0416～0.0789
滋賀	0.032	0.031	0.031 ～0.061
京都	0.037	0.037	0.033 ～0.087
大阪	0.042	0.042	0.042 ～0.061
兵庫	0.036	0.036	0.035 ～0.076
奈良	0.047	0.047	0.046 ～0.080
和歌山	0.031	0.030	0.031 ～0.056
鳥取	0.063	0.062	0.036 ～0.110
島根	0.044	0.044	0.037 ～0.131
岡山	0.047	0.047	0.043 ～0.104
広島	0.046	0.046	0.035 ～0.069
山口	0.089	0.091	0.084 ～0.128
徳島	0.037	0.037	0.037 ～0.067
香川	0.052	0.052	0.051 ～0.077
愛媛	0.047	0.047	0.045 ～0.074
高知	0.024	0.024	0.019 ～0.054
福岡	0.035	0.035	0.034 ～0.079
佐賀	0.039	0.039	0.037 ～0.086
長崎	0.029	0.029	0.027 ～0.069
熊本	0.027	0.027	0.021 ～0.067
大分	0.049	0.049	0.048 ～0.085
宮崎	0.026	0.026	0.0243～0.0664
鹿児島	0.034	0.035	0.0306～0.0943
沖縄	0.020	0.020	0.0133～0.0575

※文部科学省発表、30、31両日とも午後4～5時観測。単位はマイクロシーベルト毎時。★は最新データで通常値を超えた自治体。福島は測定施設が警戒区域内で立ち入れず、福島市で代替測定しており、データ収集の遅れのため午後1～2時の観測値。

もう一度海さ出るよ

声 被災地から

仲間の漁師たちと漁港の片付けに精を出す寺沢助三郎さん（左）

岩手

大船渡市三陸町吉浜の漁港で、被災した養殖設備を片付けていた漁師、寺沢助三郎さん(74)「手塩にかけた養殖ワカメが全部やられて、持ってた船2隻も流された。しばらくは酒ばっか飲んで引退も考えたよ。けど、目の前にこの海があんだもん。海見てっとき、『ああ、海行きてえなあ』って思うんだよな。おれにはこの仕事しかねえから。みんなで頑張って港を復活させて、もう一度海さ出るよ」

清水郁子さん

福島

飯舘村長泥の自宅から家族7人と犬1匹で南相馬市に自主避難してきた飯舘村商工会職員の清水郁子さん(32)「目に見えない不安との戦いがこれからも続くのかと思うと気がめいります。夜寝る前に子どもの顔を見ると『今日も一日無事だった』とほっとしつつ、『不安な生活を続けさせるのか』と悲しい気持ちにもなります。この子たちの将来はどうなるのか、地震前の普通の生活にいつ戻れるのか、心配です」

宮城

石巻市大宮町の実家の片付けをする津田良仁さん(36)「父興志(69)と母サツ子(64)が2人で暮らす実家は、1階が水につかり、今は2階で寝泊まりしています。周囲の家も何軒か流されました。何とか生活できていますが、外観は残っていても一度は塩水まみれになった家なので不安です。この先この家をどうすればいいか、父と話し合っていますが、なかなか結論は出ません」

実家の片付け作業をしていた津田良仁さん（左端）と両親

Q&A

Q 仮設住宅の衛生対策を教えてください

A 保健所と連携し、薬剤をまく など自治会単位で対応しましょう

神戸市保健福祉局健康部生活衛生課の結城憲正係長(54)に聞きました。

95年の阪神大震災の時は、神戸市に約3万戸の仮設住宅が建設されました。建設地はさまざまで、公園や学校のグラウンドなどの平たんな場所から、樹木が多い場所、山間部の谷あいなどもありました。

また、当時の仮設住宅は、基礎がしっかりせず、上物を載せるだけという造りが多かったため、仮設住宅の床下に水たまりができました。水はけの悪い場所で蚊が発生したり、水が腐って異臭を放ち、床から湿気が上がって、室内にカビが生えたりする問題が起きました。夏場は特に蚊、ムカデ、ナメクジなど虫の苦情が多くありました。

もしそのような状況になったら、各保健所に現場を調査してもらい、仮設住宅の床下に薬剤をまいたり、巡回指導を行ってもらいましょう。また、保健所と連携し、自治会単位で薬剤散布の機材を借り、各自で駆除することも大切です。高齢者や障害者などの入居者の多い仮設住宅では、戸別で対応しましょう。

また、室内の湿気は、可能であればクーラーで除湿するか、日中は風通しをよくしましょう。害虫が入ってこないよう網戸を取り付けることも大切です。【長尾真希子】

ミニニュース

■吹奏楽のチャリティーコンサート　大東学園高校音楽科教諭の藤井和夫さん(33)が主宰する吹奏楽団「ハーモナイズ」が12日14時、東京都日野市神明1の日野市民会館大ホールでコンサートを開く。会場では募金箱を設置し、募金全額を「ハタチ基金」「全国里親会大震災こども救援基金」など、被災地の子どもを支援する基金に寄付する。

藤井さんは3年前から、児童養護施設などで暮らした人々が活動するNPO法人「日向ぼっこ」を支援するチャリティーコンサートを開いてきた。コンサートには同高吹奏楽部なども出演。ZARDの「負けないで」など6曲を演奏。入場無料。問い合わせはメールharmonize2008@gmail.comへ。

■震災復興シンポ　福島大学災害復興研究所は11日13時、同大構内で、東日本大震災災害復興シンポジウムを開催する。山中茂樹・関西学院大災害復興制度研究所主任研究員が「東日本大震災・福島原発事故とこれからの災害復興」と題して講演、大学関係者や県職員、2次避難所になっている温泉宿の支配人らによるシンポジウムもある。入場無料。問い合わせは災害復興研究所☎024・548・8290。

■被災した学生に見舞金　全国大学生活協同組合連合会（組合員135万人）は、東日本大震災によって自宅や実家が全壊した大学生に対し、1人につき3万円の見舞金を支給する。対象は、親など主たる生計維持者が住んでいた家が震災で全壊した学生で、同生協連に加入する大学生協の組合員。卒業生は含まない。問い合わせや申請は、各大学生協の窓口、または大学生協共済連サポートダイヤル（☎0120・335・770）。7月29日まで受け付ける。

三陸物語

Sanriku Monogatari

家族3人を失った 新田貢さん ⑦

心は失っていない

5月29日の昼下がり。三陸海岸の広田湾に臨む高台に和太鼓がとどろいた。「がんばろう陸前高田・太鼓コンサート」。バチを振る新田佑君(10)の雄姿に、父親の貢さん(48)が目を細めた。

妻と2人の娘を奪った津波から79日。仮設住宅の完成を待ちわびながら、父子2人で避難所暮らしを続けてきた。佑君は以前と同じ小学校に通う。会社が被災して解雇された新田さんは、同じく父子家庭となった吉田寛さん(33)に誘われて、仮設住宅への電気製品の搬入と取り付けのアルバイトを始めた。

太鼓コンサートの会場で鬼ごっこをする佑君＝岩手県陸前高田市で29日

新田さんに聞いてみた。「町を離れたいと思いませんでしたか」。間を置かずに答えが返ってきた。「隣町の妻の実家で両親と暮らすことも考えましたが、佑から同級生まで奪ったらかわいそうだし。津波から逃げるようで、しゃくじゃないですか」

新田親子と出会ってひと月余り、その表情に随分と笑みが戻ったように思う。「何が変わったのでしょうか?」。少し考えて答えてくれた。「開き直りかな。悲しみは消えないし、もがいても故人は帰って来ない。だからといって僕がくよくよしていたら、佑もしんどいい。じゃあ、僕自身の生き方を変えるしかない。そう思ったんですね」

太鼓の演奏を終えた佑君は、吉田さんの長男の芳広君(9)と鬼ごっこをして歓声を上げている。「佑が一番ママ似。『おへらさん(おしゃべり)』なところはパパ似」なのだそうだ。

最後に新田さんから聞いた心に残る言葉を記す。

「僕たちは津波で大切な家族を失ったけれど、心まで失ったわけじゃない」「いずれ妻と娘のところに行けるわけだし、せっかくなら佑との楽しい土産話をたくさん作りたいと思っています」

【萩尾信也、写真も】

＝この項おわり

◇

「三陸物語」は火～土曜日に掲載します。

毎日パソコン入力コンクール開催

キーボード入力の速さ、正確さを競う「第11回毎日パソコン入力コンクール」を開きます。昨年は約31万人が参加しました。

≪部門≫第1類「パソコン入力」7部門＝ホームポジション、ローマ字、英文A、英文B、和文A、和文B、数字・記号▽第2類「基礎学力向上」6部門＝英単語小中学生、同高校生、漢字小学生、同中・高校生、計算、フラッシュ暗算▽第3類「情報発信」（中学生のみ）≪大会期間≫6月大会(6月1～30日、秋季大会（9月10日～10月20日）。第3類は秋季大会のみ≪参加方法≫自宅や学校などからインターネット経由で参加。それぞれ最終日まで申し込み可能。使用ソフトはコンクールホームページで無料配信≪全国大会≫6月大会、秋季大会で成績上位だった小中高校生が参加して12月に東京都内で開催。第3類は12年1月に開催予定≪参加費≫第1類・第2類＝一般団体・1部門1人800～1200円▽学校団体・1部門1人600～900円▽50人以上の学校団体1人100円▽個人参加は1部門2000～2500円。第3類は無料。

問い合わせは毎日パソコン入力コンクール事務局（☎0428・24・1163）。詳細、申し込みはhttp://www.maipaso.net/

主催　毎日新聞社、日本パソコン能力検定委員会

毎日パソコン入力コンクール開催

歌川国芳展10万人突破

大阪市天王寺区の大阪市立美術館で開催中の「没後150年　歌川国芳展」（毎日新聞社など主催）の来場者が31日、10万人を突破した。6月5日まで。同展は歌川国芳の代表作から国内初公開の作品まで420点を紹介している。一般1300円、大高生900円。中学生以下は無料。入館は午前9時半～午後4時半。

◆日テレにBPO意見書

放送倫理・番組向上機構（BPO）の放送倫理検証委員会（川端和治委員長）は31日、日本テレビが今年1月8日に放送した報道番組「news every.サタデー」内の特集について「事実が正確でなく、公平性も損なっており、放送倫理に違反する」とする意見書を公表した。番組は、ペットビジネス特集でペットサロンやペット保険を運営する会社の社員をあたかも一般客のように放送した。会見で川端委員長は「真実に迫る最善の努力をするという報道の使命をゆるがせにした」と指摘。また09年に同局の報道番組「真相報道バンキシャ！」が、虚偽証言に基づいて番組制作したことを挙げ、「同じ局がまた事実でない放送をしたことは問題。根本的な倫理観が制作現場で血肉化されていなかった」と話した。

第3125回ナンバーズ数字選択式全国自治宝くじ

（31日・カッコ内は口数）

ナンバーズ4　9937

ストレート　129万9200円(17)

ボックス　10万8200円(139)

セット・ストレート　70万3700円(55)

セット・ボックス　5万4100円(645)

ナンバーズ3　253

ストレート　8万1100円(111)

ボックス　1万3500円(599)

セット・ストレート　4万7300円(208)

セット・ボックス　6700円(1122)

ミニ・下2ケタ　8100円(499)

第616回ミニロト数字選択式全国自治宝くじ

（31日・カッコ内は口数）

本数字＝07、18、21、27、28

ボーナス数字＝10

1等	1666万1300円	(12)
2等	20万5100円	(70)
3等	1万700円	(2311)
4等	1000円	(62286)